

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.1-6)

件名	中継槽の計装配管における詰まり										
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 中継槽</p> <p>(2) 発生の状況 中継槽の運転中</p> <p>(3) 概要 中継槽のファイン(溶解しきれなかったゴミの一種)の堆積による、液位、密度等を測定する計装配管の詰まり</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>										
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している中継槽内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 中継槽内に設置されている計装配管にファインが堆積して配管に詰まりが生じ液位、密度など測定に一時的に支障をきたすが、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 計装配管の詰まり除去作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 測定異常に伴い、受け入れ工程および送液先への適切な運転情報の提供が一時的に不足するが、詰まり除去のための短期間であれば、他工程への影響は生じない。</p>										
対応の概要	<p>(1) 計装配管の詰まりであることを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、計装配管から計装用圧縮空気をかける。</p> <p>(3) それでも除去できない場合は、定められた保守作業手順に従って、計装配管から硝酸等の除染液を流し、詰まりを除去する。</p>										
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)										
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td>0以下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	0以下	1	2	3	4	5	6	7	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>放射能物質の外部防出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時降下からの逸脱等 多重防護の劣化</p>
(a) 運転継続しながら復旧	0以下	1	2	3	4	5	6	7			

